

調査・研修等計画届出書

令和 6 年 10 月 7 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三木雪実

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 6 年 10 月 8 日から 10 月 10 日まで(2泊3日)	
調査先・研修名	1. 奥州市伝統産業会館「奥州南部鉄器」(10/8) 2. 第 19 回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡 (10/9-10/10) 3. 八幡平市安比高原インバウンド誘致視察 (10/10)	
会場名(会場所在地)	1. 奥州市伝統産業会館 2. トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館) 3. ANA インターコンチネンタルホテル・ハロウインターナシ ョナルスクール安比ジャパン	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係 る瀬戸市・自己の現状と 課題を踏まえて)	・伝統産業である鋳物の製造工程および関連施設を視察する ことで、瀬戸焼産業へ活かすことができる ・第 19 回全国市議会議長会研究フォーラム 基調講演(ビデオメッセージ) 「人口減少社会における地域の未来図」 パネルディスカッション 「地方議会の課題と主権者教育」 「主権者教育の取組報告」 ・「国際芸術祭あいち 2025」の開催を見据え、一過性のイベ ントではなく、本市に観光客を呼ぶ戦略の一つとして、「八 幡平市 安比高原インバウンド誘致」を視察	
議長名の依頼	要・ ☒ 不要	依頼先(名称)
同行者名	・富田宗一・宮藺伸仁・柴田利勝・高島淳 ・朝井賢次・颯田季央・山内精一郎・黒柳 知世	

※行程表を添付してください。

調 査 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 7 年 2 月 1 0 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三木 雪実

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 6 年 1 0 月 8 日から 1 0 月 1 0 日（2 泊 3 日）
調査先・研修名	1. 奥州市伝統産業（奥州南部鉄器）（1 0 月 8 日） 2. 全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡 （1 0 月 9、 1 0 日） 3. 八幡平市安比高原インバウンド誘致視察 （1 0 月 1 0 日）
会場名（会場所在地）	1. 岩手県奥州市水沢羽田町（水沢鋳物工業協同組合） 2. トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館） 3. ANA インターコンチネンタルホテル・ハロウインターナ ショナルスクール安比ジャパン
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係 る瀬戸市・自己の現状と 課題を踏まえて）	・ 伝統産業である鋳物の製造工程および関連施設を視察する ことで、瀬戸焼産業へ活かすことができる ・ 第 19 回全国市議会議長会研究フォーラム 基調講演（ビデオメッセージ） 「人口減少社会における地域の未来図」 パネルディスカッション 「地方議会の課題と主権者教育」 「主権者教育の取組報告」 ・ 「国際芸術祭あいち 2025」の開催を見据え、一過性のイベ ントではなく、本市に観光客を呼ぶ戦略の一つとして、「八 幡平市 安比高原インバウンド誘致」を視察

○奥州市伝統産業「欧州南部鉄器」の維持と活性化

奥州南部鉄器は、平安時代後期（西暦1000年代）に奥州藤原氏が京都や近江（現滋賀県）から鋳物師を招聘し、仏具をはじめ鉄鍋釜を作らせたのが始まりとされ、江戸時代になると仙台伊達藩の庇護の下、その生産量は飛躍的に増加した。明治期には東北一の産地となり、現在では海外市場においても高い評価を受け、注目されている。常に新しいものにチャレンジし、鋳物の可能性を追求する姿勢と熱意がそうさせるものと感じた。

水沢鋳物工業協同組合のアンテナショップ及び奥州市伝統産業会館では、南部鉄器製法で作成した地元出身のメジャーリーガー大谷翔平選手の実物大握手像を展示し、観光客の関心を高めるなど工夫を凝らしていた。

少なくとも同時代からの歴史を持つ瀬戸焼も、その伝統を後世にしっかりと伝えることは、瀬戸市民の大切な役割のひとつである。瀬戸焼の作成技術は多岐にわたり、分業化も図られているが、どの過程が抜けても製品となり得ないことから、官民一体となってその技術の保護保存に取り組むべきと考える。

○研究フォーラム in 盛岡「主権者教育の新たな展開」

（9日パネルディスカッション、10日課題討議）

昨今の議会、特に地方議会において①投票率の低下傾向②無投票当選の増加③議員のなり手不足④立候補者の性別、年齢の偏りなどが課題としてクローズアップされてきた。これらを解消するために地方政治や議会への関心の高まりを醸成し、理解を深める『主権者教育』を推進する方策について議論が行われた。

昭和22年制定の教育基本法において、第8条（政治教育）「良識ある公民たるに必要な政治的教養は、教育上これを尊重しなければならない」とあり、さらに政治的教養とは「a. 民主政治、政党、憲法、地方自治等、民主政治上の各種制度についての知識 b. 現実の政治の理解力及びこれに対する公正な批判力 c. 民主国家の公民として必要な政治道徳、政治的信念」とある。これらを踏まえ、総務省において主権者教育とは「国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、判断し行動していく主権者を育成していくこと」とし、若者や子供たちが政治や社会に関心を持ち、それを自分事として考えた上で、選挙などに主体的に参加する態度を養う教育としている。

以前から主権者教育については語られていたものの、議会として主権者教育を推進しはじめた背景には2015年公職選挙法の一部を改正する法律が施行され、選挙権を有する者の年齢が18歳とされたことが契機となったと考えられる。さらに2023年には地方自治法一部改正が行われ、地方議会の役割及び議員の職務などの明確化、また多様な人材の地方議会への参画促進への環境整備も進められた。地方議会においては、投票率の低下や無投票当選の増加、議会への関心の低下、議員

のなり手不足、女性や若者など多様な人材の議会参画などの喫緊の課題を克服する
必要があり、多くの取り組みがなされるようになっていく。

フォーラムでは、岩手県盛岡市議会をはじめ長野県伊那市、三重県四日市市の取
組みが事例として取り上げられ紹介された。盛岡市及び伊那市では高校生議会の開
催、四日市市では各常任委員会が地域の高校、大学に出向いてテーマをもとに意見
交換会を行っている。

○ANA インターコンチネンタルホテル・ハロウインターナショナルスクール安比ジ
ャパン視察

地方を活性化させるための「地方における高付加価値なインバウンド観光地」に
選定された岩手県安比高原における取り組みを視察した。具体的には、英国の名門
校ハロウスクールを誘致するなどの国際化について株式会社八幡平 DM0 代表取締役
兼 CEO 寺田匡宏氏の講演を聴き、観光誘致についての具体的事例を知ることができ
た。また、主権者教育の取り組みについても報告があり、本市議会の参考となる有意
義な情報であった。

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

【所 感】

いずれにせよ、若い人たちの政治的関心の低下、地域への愛着の低下、政治不信、
議員のなり手不足などさまざまに顕在化する課題を解決しようとするものである
が、こうした課題が若者すべからくに当てはまるものではなく、関心の濃淡は人そ
れぞれである。議会を開く、意見交換会を開くとしても参加者や時節に合わせた適
切な行事としなければ意味がないものと考えられる。

フォーラムの中でも、現在の主権者教育で感じる限界、として

○模擬投票に偏りすぎた教育

⇒通り一遍の内容となり、主催者側の自己満足に終始することがある。

○政治的中立の足枷

⇒政治的発言の萎縮という事態が発生するなどが指摘されてもいる。

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

瀬戸市議会においても高校生対象ではなかったが、大学コンソーシアムの関係で名古屋学院大学の学生３０人による「議場見学並びに模擬陳情体験」を開催したほか、中学生の職場体験の一部として議会見学を実施している。

選挙の意義や議会の意義など実践を通じて学んでもらうことは、民主主義のさらなる醸成には欠かせず、議会の役割、義務としてもさまざまなかたちで主権者教育を進めていくべきと考える。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 ／ 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
6 年 10 月 8 日	名古屋飛行場	飛行機	片道	花巻空港	594	km	38,300	円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
	アートホテル盛岡				019-625-2131		11,000 円			
備考欄										

49,300 円

日付	出発駅	交通手段	片道 ／ 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
6 年 10 月 9 日						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
備考欄	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
	アートホテル盛岡				019-625-2131		11,000 円			

小計 11,000 円

日付	出発駅	交通手段	片道 ／ 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
6 年 10 月 10 日	花巻空港	飛行機	片道	名古屋飛行場	594	km	38,300	円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

バック等による割引など

小計 38,300 円

23,130 円

宿泊費 合計

交通費 合計

22,000 円

76,600 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

75,470 円

行程表

	日付	日時	スケジュール	メモ
1 日目	1 0 月 8 日 (火曜日)	7 : 55	名古屋小牧空港	盛岡市内 泊
		9 : 30	岩手花巻空港	
			奥州市へ移動	
		13 : 00 ～ 15 : 00	奥州市伝統産業会館等 視察	
			盛岡市へ移動	
2 日目	1 0 月 9 日 (水曜日)	13 : 00 ～ 16 : 30	全国市議会議長会 研究フォーラムin盛岡	盛岡市内 泊
3 日目	1 0 月 1 0 日 (木曜日)	9 : 00 ～ 11 : 00	全国市議会議長会 研究フォーラムin盛岡	
		11 : 30 ～ 15 : 00	八幡平市安比高原インバウンド誘致 視察	
			岩手花巻空港へ移動	
		17 : 45	岩手花巻空港	
		19 : 00	名古屋小牧空港	